

# 足音

九月十六日  
石巻中一年  
学年通信No.二十六  
編集・発行  
鈴木 孝明

はじまっていくもの

文化祭明けの今週、さっそくいろいろなことが始まっていきました。

月曜日からは、合唱コンクールへ向けたクラス

の練習が始まりました。スタートはつまずくかなと思いましたが、そんな心配は杞憂に終わりました。

今は「音取り」がメインということもあり、どのクラスもパートごとに練習を行いました。何度も曲を流し、ひたすらに歌い続ける人たちもいれば、ある程度歌ったところで止めて、音程やブレスなどを細かく確認する人たちもいます。いずれにしても、真剣です。

もちろんマスクはして



いるし、互いの距離感には気がした上での練習です。しかし、こうした光景が学校に戻りつつあること自体をうれしく思いました。

歌声は、これから年齢が上がれば安定し、立派なものになっていきます。三年生の歌は、やっぱり違います。それはそれとして、本番に楽しみにしておきましょう。変声期を迎える子の多い一年生は、当然不安定になりがちです。自分の歌が、本当にあっているのかなど、不安に思いながら歌っている人も多いことでしょう。しかし、一年生には一年生にしかない魅力があるのも確かです。これまででもたくさん

の一年生の歌声を聴いてきましたが、これはまぎれない事実です。だから、今の自分たちにしかできない歌声を、自信をもって響かせてください。

合唱コンクール自体は、これから二年、三年と続いていきます。でも、この仲間と歌を作り



上げていくのはこの一回きりです。一度きりのこの合唱を作り上げていくこれからの日々を、悔いなく進んでいきましょう。

木曜日の朝には、生徒会役員選挙立候補者の選挙活動が始まりました。

朝、渡り廊下前に立候補者と推薦責任者がずらっと並んだ光景は実に壮観なものでした。この石巻中学校をよりよくしようという思いのかたまりを感じました。

立候補者の人たち。まず、この舞台に立つこと自体、本当に立派なことです。ぜひとも選挙期間中は、自分の思いを言葉にしてどんどんぶつけていってください。

推薦責任者は、立候補者のそばに寄り添い、支えてあげてください。

そして、その周りにいるみんな。立候補者の思いに応えてください。あいさ

つには返事をし、声に耳をかたおけ、あたたかい眼差しで見守りましょう。選挙活動を通して、集団が、学校の雰囲気がよくよくなるのが理想です。

そういう選挙活動期間をみんなのでつくりあげていきましょう。

